

石ころクラブ勉強会2018年度活動報告 (高砂石の宝殿竜山石・二上山のガーネット)

石ころクラブ勉強会

石ころクラブ勉強会で本年度に行った2回の野外観察会の活動報告をします。また、共生のひろば当日は石ころクラブ勉強会の出席者の「私の一番の石」を出品、展示しました。

野外観察会の活動報告

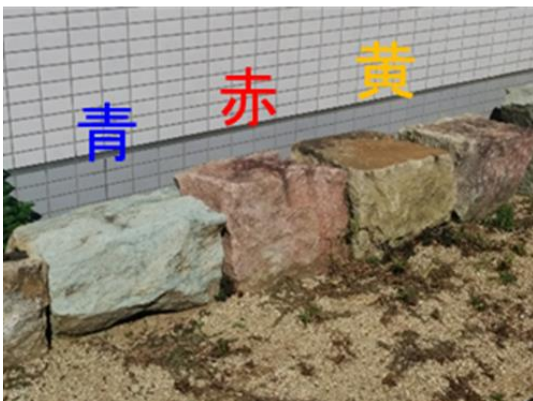
① 竜山石観察会

開催月日：2018年10月8日（月・祝）

観察場所：兵庫県高砂市竜山（JR宝殿駅集合）

*竜山石とは？

- ・白亜紀後期（8000万年前）に火山噴火によって堆積、形成された流紋岩質凝灰岩。風化の度合いに応じて出来た青色、黄色、赤色（希少）の色合いが特徴。
- ・1700年も前から古墳や神社で、近代では銀行やホテルなどの建物で、良質の石材として使われてきた。細かい作業も施しやすい柔らかかな材質が人気の理由の一つ。



3色の竜山石



古墳時代の石棺

*生石神社（おおしこじんじゃ）の“石の宝殿（いしのほうでん）”

- ・竜山石の山肌をくりぬいて作られた建造物で、推定500トンほどの巨石。生石神社の御神体である。
- ・1300年ほど前から、まるで水の上に浮いているかのような「浮石」として記録に残されているが、だれが何のために作ったのかなど謎は多い。
- ・周辺の史跡とともに、国史跡に登録されている。



生石神社



別名「浮石」

② 二上山のガーネット観察会

開催月日：2018年11月23日（金・祝）

観察場所：奈良県香芝市穴虫（近鉄大阪線二上駅集合）

*二上山のガーネット（ザクロ石・金剛砂）

- ・二上山の火山活動（1500万年前）に伴う熔岩にザクロ石が含まれている。この火山岩が風化し、ザクロ石が流出して周囲の低地に堆積したものが金剛砂と呼ばれている。
- ・二上山のザクロ石は鉄礬ザクロ石の一種で、硬度が6.5～7.5（ダイヤモンドは10）と硬質のため、研磨剤として古来より利用されてきた。
- ・明治時代以降、地中からの金剛砂の採掘が始まり、産業として発展していった。
- ・大正時代にサンドペーパーの産業が起これ、戦争中は軍需品として生産が急速に増大した。

竹田川でガーネット採集



川砂から選り分けたガーネット



共生のひろば当日の様子



2回の観覧会を紹介するポスター展示と長机に並べられた石ころクラブ勉強会参加者の「私の一番の石」



展示全体の様子 (写真中央)



実体顕微鏡で二上山のガーネットを観察する見学者